

令和6年度

高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材整備事業

山鹿消防署 高規格救急自動車

仕様書

山鹿市消防本部

目次

第 1 総則

第 2 提出書類

第 3 車両規格及び車両・車内装備

第 4 塗装・車体標識等

第 5 消防救急デジタル無線機及び AVM 並びに携帯電話

第 6 救急用積載品及び車両用付属品

第 7 その他

第1 総 則

- 1 本仕様書は、山鹿市消防本部（以下「消防本部」という。）が、令和6年度に実施し、山鹿消防署に配備する高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材整備事業の、高規格救急自動車（以下「救急車」という。）の車両及び艤装の仕様について定める。
- 2 救急車の規格は、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日付け消防消第49号）に準ずるほか、救急業務実施基準（昭和39年3月3日付け自消甲教発第6号）並びに道路運送車両法（昭和26年法律第185号）の保安基準等の関係法令に適合するとともに、緊急自動車として承認が得られるものでなければならない。
- 3 検査は、中間検査及び完成検査とする。中間検査は書類審査とし完成検査は消防本部が指定する場所とする。
- 4 納期は、令和7年3月14日（金）までとし、納入場所は山鹿消防署とする。
- 5 保証期間は、装備品については1年とし、車両についてはメーカーの定める期間とする。
- 6 車両の新規登録に要する費用は受注者の負担とする。但し、自動車重量税及び自動車損害賠償責任保険、リサイクル料金は消防本部の負担とする。また、更新対象車両については、山鹿消防署予備車とするための手続き等をおこなうこととし、受注者が負担するものとする。
- 7 現予備車である中央救急3号車（熊本800す3178）は、山鹿市民医療センターへ移譲するため、当消防本部の名称表示及び対空表示は完全に消去し、無線機器等の移設後に生じた穴等は完全に塞ぐものとする。
- 8 不当介入に対する措置
暴力団等又は暴力団関係者から不当介入を受けたときは、次に掲げる事項を行うこと。なお、後述の行為を怠っていることが確認されたときは、指名停止等の措置を行う。
 - (1) 不当介入を受けた場合は、速やかに警察に通報するとともに捜査上必要な協力を行うこと。
 - (2) 警察に通報等を行った内容について、書面により速やかに発注者に報告すること。また不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じるおそれがある場合は発注者と協議を行うこと。

第2 提出書類

- 1 救急車の製作に先立ち次の図書を各2部提出し、消防本部の承認を得ること。
 - (1) 車両主要諸元表及び価格内訳表
 - (2) 作業工程表及び製作概要図
 - (3) 艤装五面図

- (4) 装備品取付け図
 - (5) 電気配線図
 - (6) その他指示するもの
- 2 納車、検収時に次の書類を提出すること。
- (1) 最終艤装五面図（2部）
 - (2) 車両等取扱説明書
 - (3) 各主要取付け品及び付属品の一覧表（製造会社、住所、電話、カタログ）
 - (4) 改造自動車届出書及び自動車検査証（写）
 - (5) 完成車写真（製造工程時に日付入り写真を撮影し、電子媒体化したもの）
 - (6) その他指示するもの

第3 車両規格及び車両・車内装備

1 車両規格

- (1) 車両定員 7名以上
- (2) 車両構造は、本仕様書よりメーカーの標準自動車を一部改造及び艤装するもので、その構造は、振動、衝撃等を十分緩衝できるボディとし、あらゆる走行条件に対して安全で、かつ安定性をもつものであること。
- (3) 運転席から患者室へ容易に往来できる構造であること。
- (4) すべての座席に、シートベルトが設置されていること。
- (5) 車両の主要諸元は、次のとおりとする。

ア エンジン	ガソリンエンジン
イ 総排気量	2, 488cc 以上
ウ 最高出力	14.7kw (ps) /rpm 以上
エ 駆動方式	四輪駆動方式(切替え式可)
オ 変速装置	電子制御4速AT車以上
カ タイヤ	ラジアルタイヤ
キ ステアリング	パワーステアリング
ク 最小回転半径	6.1m 以下
ケ オルタネーター	150A 以上
コ サスペンション	救急車専用サスペンションを設けること。
サ 制御方式	ABS方式
シ 車両寸法	
全長	5,330mm～5,600mm
全幅	1,800mm～1,900mm
全高	2,480mm～2,510mm
ホイールベース	3,110mm 以下
トレッド前	1,635mm～1,665mm

トレッド後	1, 635mm～1, 660mm
ス 患者室寸法	
室内長	3, 320mm 以上
室内幅	1, 660mm 以上
室内高	1, 850mm 以上

2 車両・車内装備

(1) 車体装備

- ア 重量軽減を行い、積載品等を搭載したときの前後、左右の過重バランスを考慮すること。
- イ 車体は全有蓋で、密閉式構造であること。
- ウ 外板は主として鋼板とし、主要部の継目は溶接とすること。
- エ 全般にわたり、防錆、防水処置を施すこと。
- オ 緩衝装置は、資機材を用いた業務の遂行にあたり十分な性能を有すること。
- カ フロントグリル中央に直径150mmの消防章を取り付けること。
- キ 車体後部には、ストレッチャーによる搬入が容易に行われる構造であること。
- ク リヤドア、サイドドアには、オートクロージャールを取り付けること。又、リヤドアには非常時に解除出来る構造とすること。
- ケ 牽引フックをフロントバンパー下部に堅固に取り付けること。
- コ フロントアンダーミラーを設置すること。
- サ 助手席から車両左後方確認できるミラーを設けること。
- シ 傷病者室の窓は、くもりフィルム貼りを使用し、左スライドドアの窓の上の一部をプライバシーガラス又は同等品以上の処理を施すこと。
- ス リヤドアからの担架及び傷病者の乗降用として、バックステップ（アルミ縞板製）をフレームに確実に、かつ堅固に取り付け、リヤバンパー損傷防止板（アルミ製）及びすべり止めの処置をおこなうこと。
- セ フロントステップ及びサイドステップはアルミ縞板のステップとし、すべり止めの処置をおこなうこと。
- ソ リヤドアは、悪天候、緊急処置にも対処し得るよう跳ね上げ式とすること。
- タ マッドガード（泥よけ）を全車輪に取り付けること。
- チ 各ドアの施錠は、運転席からの集中ロック式とすること。
- ツ バール、万能斧、ガラスカッター、シートベルトカッター等のレスキューセット（5点セット）を車体側面の収納ボックスに設置すること。
- テ 車体の有効な場所に、アースボンディング（雑音防止装置）を取り付けること。
- ト 前照灯は、LEDヘッドランプ又は同等品を装備すること。
- ナ 路肩灯（LED）を取り付けること。（スモールランプ連動）
- ニ サイドフラッシャーランプを設けること。

- ヌ フロントにコーナーセンサーを設けること。
- ネ 傷病者室の左クォータ部にカーテンを設け、バックドアに電動カーテンを設けること。
- ノ リヤドアに、搬入、搬出作業用としてスポットライト（連動及びスイッチ付）を設けること。
- ハ 現場作業灯を設けること。
 - （ア） ルーフ左右両側に各 2 灯、バックドアに 1 灯、合計 5 灯の LED 作業灯を設けること。
 - （イ） シフトが P レンジ時、又はサイドブレーキを引いた状態でスイッチが動作すること。（法規上走行時の点灯は違反行為となるため）
 - （ウ） 左右選択スイッチを設けること。
 - （エ） 消費電力を考慮して、点灯に連動したアイドルアップ装置を設け、バッテリーの電圧低下を防止すること。
- ヒ LED フォグランプ又は同等品（ヘッドライト一体型を含む）を 2 個取り付けること。
- フ 運転室の左右ドアにサイドバイザーを取り付けること。

（2）警光灯・サイレン

- ア フロントバンパー部に 50W 以上スピーカー 2 個内蔵型散光式警光灯（LED）、及び後部ルーフサイドに流線型点滅警光灯（左右 LED 各 1 個）を設け、スイッチはコントロールボックスに設けること。
- イ 警光灯は、ルーフ一体埋込型とする。
- ウ 車両前部のバンパー付近に赤色警光灯（LED）を 2 個取り付けること。
- エ 左右側面の前部、後部に補助赤色警告灯（LED）を 2 個ずつ計 4 個取り付けること。
- オ バックドア付近に補助赤色警告灯（LED）を 2 個取り付けること。
- カ 電子サイレンアンプは、「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」（昭和 45 年 6 月 10 日付け消防防第 337 号通知）に適合するものとし、スピーカー 50W 以上 2 個を接続すること。なおハーモニックサウンド及びフェードインアウト機能付とすること。
- キ 補助サイレンを設けること。
- ク 補助サイレン用のスイッチを、隊長席及び運転席の手元等に 2 個以上増設すること。
- ケ 電子サイレンユニット、散光式赤色警光灯、その他各電装品のスイッチ類は、運転席及び隊長席から容易に操作できるように、インストルメントパネル付近に集中して配置すること。
- コ 電装品のヒューズ等は一括して設け（特装ヒューズボックス）、表示すること。

(3) 運転室設備

- ア カーナビゲーションシステム、全周囲型モニターを取り付けること。
- イ 運転席と助手席間に地図入れ収納ボックスを設けること。(AVMモニター台含む) AVMモニター用台は、左右上下に十分に可動できる台とし、AVMディスプレイと消防救急デジタル無線機及び無線受話器を取り付けることができるもの。
- ウ 運転席用フレキシブルマイク(スイッチ付)を、運転席ドア上部に操作に支障のないよう設けること。
- エ 車両の右左折及び後退等を警報音及び音声で警告する音声合成装置を取り付けること。なお、解除スイッチを運転席に設けること。
- オ 運転席、隊長席(助手席)にマップランプ(LED)を設けること。
- カ ETCを装備すること。(セットアップ含む)
- キ ドライブレコーダーを装備すること。(セットアップ含む)
- ク 運転室上部に書類入れを設けること。
- ケ 運転室にスローバッグを取付けること。
- コ 電流計及び電圧計を容易に視認できる箇所に設けること。
- サ ドア開放警告ブザーを設けること。
- シ 運転室に傷病者室内を確認できるミラーを設けること。
- ス 運転室内の使用に適した位置にC型バネ付フックを適当数設けること。

(4) 収納関係

各資器材収納庫の形状及び配置については、消防本部が指示する。一般事項は次のとおりとする。

- ア 傷病者室にティッシュ及びグローブボックスの固定ベルトを消防本部との協議の上設けること。
- イ 助手席後部に胸骨圧迫デバイスを収納できる収納庫を取り付けること。
- ウ 傷病者室の有効な位置に、足踏み式汚物入れを設けること。
- エ 傷病者室の左右ルーフサイドに収納庫を設け、右前ルーフサイドは施錠付収納庫とする。
- オ 傷病者室の右側後方に大型の収納庫を設け、上段の収納庫は処置トレイとして使用できるものとする。
- カ 傷病者室の右側前方に3段収納庫を取り付けること。
- キ 救急医療資機材を有効に収納できる引出しボックスを設けること。なお、棚、ボックスは堅牢でかつ緩衝付内張りの加工処置を施すこと。
- ク メディカルシート付近に書類収納庫を設けること。
- ケ 傷病者室の天井部左右に、収納ネットを2箇所以上設けること。

(5) 傷病者室設備

- ア 傷病者室の床には、水洗いに耐える防水防錆加工処理を施すこと。

- イ 各ドアの出入口付近にアシストグリップを設けること。
- ウ 傷病者ベッドの頭部側にメディカルシート（救急処置用の座席）を有すること。
- エ 傷病者室の天井部に換気扇フィルターを設けること。
- オ 傷病者室の有効な位置に、点滴フック（収納式）を2箇所以上設けること。
- カ 傷病者室の見やすい位置に、デジタル時計（電波式）を設けること。
- キ 傷病者室の使用に適した位置に自動体外式除細動器用、患者監視装置等のブラケットを設けること。
- ク 傷病者室の使用に適した位置に本体脱着式のホワイトボードを設けること。
- ケ 傷病者室の使用に適した位置にC型バネ付フックを適当数設けること。
- コ 車両の適した位置に消火器を設置すること。（取り付け金具含む）
- サ 傷病者室の天井に調整機能付室内灯（LED）を4箇所以上設けること。
- シ 隊員席上部に隊員用スポットライトを設けること。
- ス 傷病者室の有効な位置に、ペーパータオルホルダーを設けること。

（6）搬送用装備

- ア 防振架台は、加速度等により生ずる揺れを十分吸収できる緩衝装置を有するものであり、左右にスライドできるものであること。
- イ 防振架台は、胸骨圧迫等の処置のため任意の位置でロックできる機構を有すること。
- ウ 防振架台上にメインストレッチャーを収納し、走行中に振動や移動を生じないワンタッチ式の固定装置を設けること。
- エ メインストレッチャーはガートル架台付きとする。
- オ 傷病者室の有効な位置にスクープストレッチャー収納装置を有すること。
- カ 傷病者室の有効な位置にバックボード収納装置を有すること。

（7）気道確保用装備

- ア 吸引器固定用ブラケットを設けること。
- イ 予備吸引カテーテルを収納及び使用中吸引カテーテルを保持する設備を設けること。

（8）酸素吸入装置等・酸素ポンペ

- ア 酸素ポンペ固定装置は、有効な位置に設け、10リットル型アルミポンペ2本を脱着できる構造としポンペを付属すること。（予備ポンペ2本を含む）
- イ 酸素の配管は、天井及び側板に埋設し、酸素マスク2個以上を収納できるコンソール等を設けること。
- ウ 二連式加湿酸素流量計は、オキシパック・OX-III S型又は同等品とし、傷病者室の有効な位置に設けること。
- エ 携帯酸素用2リットル型アルミポンペを2本付属すること。（減圧弁含む）

(9) 電装品 (車両)

- ア 防水対策を施した外部コンセント (AC100V) を運転席側に設け、接続コード10m以上 (プラグ付) を付属すること。また、外部電源入力中はエンジンスタートできないスターターカット機能付きとすること。なお、自動充電器を設置すること。
- イ バッテリー及びオルタネーターは、救急資機材及び各種電装品に必要な電気容量を十分に確保し、供給し得るものであること。
- ウ バッテリー収納部は、容易に点検及び整備ができる構造とすること。
- エ エアコンは、運転席、患者室共にメーカー純正のエアコンとすること。
- オ 暖房装置は、運転室用のほか、温風ヒーターを患者室に設けること。
- カ DC-AC インバーターを設けること。
- キ 傷病者室内に、交流100V出力コンセント (ダブル) 及びDC12V出力コンセント、同シガーライター型コンセントを使用に適した位置にそれぞれ2箇所以上設けること。(銘板表示)

第4 塗装・車体標識等

- 1 塗色はボディを白色とし、補修用塗料を添付、ボディーラインを朱色の蛍光色で再帰性に富んだ反射シート (ライン幅70~80mm) とし、リヤドア部分も朱色の蛍光色で再帰性に富んだ反射シートとすること。(フロント部は再帰性に富んだ反射シートではなく通常の朱色シートとする)
- 2 車両後部側面及びリヤドアに、次に掲げる文字を記入すること。
 - (1) 記入文字
 - ア 車両後部側面 山鹿市消防本部 山鹿消防署
 - イ リヤドア中央部 山鹿市消防本部
 - ウ リヤドア左下部 山鹿消防署
 - (2) 文字の色 紺色
 - (3) 字体 丸ゴシック体
 - (4) 施工 カッティングシート
- 3 救急シンボルマーク・スターオブライフを車両前部両側面ドア及びバックドアに標示すること。色は紺色とすること。
- 4 車両上部に、別途協議のうえ対空標示「山A1」を標記すること。
- 5 車両前面に、「山A1」と標示すること。
- 6 別途協議のうえ、現在の中央救急1号車に対空標示「山A2」また車両前面に「山A2」と標示し、現在の中央救急2号車に対空標示「山A3」また車両前面に「山A3」と標示すること。標示変更手数料は、受注者負担とする。
- 7 納入後1ヵ年以内に塗装部の剥離、亀裂が生じた場合は、再塗装すること。なおその他詳細については別途協議すること。

第5 消防救急デジタル無線機及びAVM並びに携帯電話

1 消防救急デジタル無線機

- (1) 中央救急1号車については、消防救急デジタル無線機を現行の中央救急1号車から移設すること。
- (2) 現行の中央救急1号車については、消防救急デジタル無線機を現行の中央救急2号車から移設すること。
- (3) 現行の中央救急2号車については、消防救急デジタル無線機を現行の中央救急3号車から移設すること。
- (4) 移設業者は消防本部が指定する業者とする。

2 消防救急デジタル無線機配線工事

配線工事は次に掲げるものとし、消防本部が指定する業者と綿密に打ち合わせ、プリカチューブに通し配線すること。

- (1) バッテリーから消防救急デジタル無線機用メインスイッチ、消防救急デジタル無線機用電源端子を介し消防救急デジタル無線機本体設置位置まで。
- (2) 消防救急デジタル無線機本体設置位置からアンテナ取り付けベースまで。
- (3) 消防救急デジタル無線機本体から運転室の送受信器及びスピーカーと傷病者室の送受信器及びスピーカーまで。
- (4) 消防救急デジタル無線配線ケーブルは業者指定のケーブルを使用し、ノイズの発生することのないように処置すること。
- (5) アンテナ取り付け部のアースを確実にとること。
- (6) アンテナ取り付け部のベース位置の室内天井に点検口を設けること。

3 車両運用端末装置（AVM）

- (1) 中央救急1号車については、AVMを現行の中央救急1号車から移設すること。
- (2) 現行の中央救急1号車については、AVMを現行の中央救急2号車から移設すること。
- (3) 現行の中央救急2号車については、AVMを現行の中央救急3号車から移設すること。
- (4) 移設業者は、消防本部が指定する業者とする。

4 車両運用端末装置（AVM）配線工事

配線工事は消防本部が指定する業者と綿密に打ち合わせ、プリカチューブに通し配線すること。

5 携帯電話（スマートフォン）

携帯電話本体は新品とし、携帯電話及び携帯電話専用充電器の取り付けをおこなうこと。

6 その他

- (1) 消防救急デジタル無線及びAVMの取り付け位置は運転室中央のAVMモニタ

一用台に取り付けること。

(2) エンジンルーム点検とエアコン操作時に支障にならないように取り付けること。

(3) 消防救急デジタル無線機及びAVM移設に関わる全ての費用は受注者負担とする。

第6 救急用積載品及び車両用付属品

1 高度救命資器材等を、協議により車内に搭載するものとする。

2 取り付け及び積載については、堅牢で震動に十分耐える構造とすること。

3 車両用付属品一覧

標準工具、スペアタイヤ（装備品と同等品）、スタッドレスタイヤ4本（ホイール付属）、樹脂製タイヤチェーン、けん引用布製ロープ、停止表示板、フロアーマット、車輪止め、愛車セット、予備ヒューズ、補修用ペン、デジタルカメラ、携帯サーチライト2個（LED 充電式）

第7 その他

1 受注者が示した標準取付け品及び付属品はすべて納入するものとする。ただし、この仕様書で指定したものと重複するものは除くことができる。

2 取付け品及び付属品等は別表のとおりとする。

別表

取付け品及び付属品等一覧

1 車体装備

品名	規格等	数量	備考
消防章	150mm	1個	
オートクローザー		1式	
牽引フック		1個	
フロントアンダーミラー	標準仕様	1式	
隊長ミラー	左後方確認用	1個	
傷病者室プライバシーフィルム	全面	1式	
リヤステップ	アルミ縞板製	1式	すべり止め含む
フロントステップ及びサイドステップ	アルミ縞板製	1式	すべり止め含む

マッドガード		全車輪	
キーレスエントリー	集中ロック式	1式	
レスキューセット (5点セット)		1式	収納庫含む
アースボンディング		1式	
LED ヘッドランプ	LED ヘッドランプまたは、 同等品	1式	
路肩灯 (LED)	左右	1式	
サイドフラッシャーラ ンプ		1式	
フロントコーナーセン サー		1式	
サイド・リヤウインド ー (電動式) カーテン		1式	
リヤドアスポットライ ト	ドア連動及びスイッチ付患 者灯兼用	1式	
現場作業灯 (LED)	左右側面部各2個、バック ドア部	5個	大阪サイレン製
フォグランプ	左右 LED 又は同等品	1式	
ドアバイザー	運転室両サイド	1式	

2 警光灯・サイレン

品名	規格等	数量	備考
赤色警光灯	アクティビーコンまたは同 等品 ルーフ前、後部、フロントバ ンパー部 LED 警光灯	1式	自動発光パターン 変更機能付き
補助赤色警光灯	大阪サイレン製または同等 品 左右側面の前部及び後部、 バックドア部 LED 警光灯	1式 計6灯	
電子サイレン	大阪サイレン製または同等 品 アンプ、スピーカー、マイク 拡声器付	1式	

	ピーポー・ウー 2 音式 ハーモニックサウンド及び フェードインアウト機能付		
電子サイレン以外のサイレン	補助サイレン	1 式	

3 運転室設備

品名	規格等	数量	備考
カーナビゲーションシステム	メーカー標準	1 式	取付け含む
全周囲型モニター	メーカー標準	1 式	
地図入れ収納ボックス	運転席中央部 A 3、蓋無し	1 式	AVM 用モニター台 含む
フレキシブルマイク	運転席	1 式	
音声合成装置	解除装置付	1 式	
マップランプ	フレキシブル式 (LED)	1 式	運転席、助手席
ETC	内蔵型	1 式	取付け及びセット アップ含む
ドライブレコーダー	運転に支障のない位置	1 式	取付け含む、SD カ ード含む
運転室書類入れ	天井上部ネット式	2 箇所	
スローバッグ	HIKO SPORT 2 5 m	3 個	
電流計、電圧計	アナログ式	1 式	
ドア開放警告ブザー		1 式	
傷病者室確認ミラー	運転室内	1 個	
運転室 C 型バネ付フック	運転室内	1 式	

4 収納関係

品名	規格等	数量	備考
ティッシュ、グローブ ボックス固定ベルト		1 式	
自動心臓マッサージ器 収納庫		1 式	
足踏み式汚物入れ		1 式	
傷病者室救急資器材収 納ボックス		1 式	
傷病者室書類収納庫		1 式	
傷病者室天井部収納 ネット	左右 2 箇所	1 式	

5 傷病者室設備

品名	規格等	数量	備考
アシストグリップ	標準仕様	1 式	
メディカルシート	標準仕様	1 式	
換気扇フィルター	標準仕様	1 式	
点滴フック (収納式)	天井部 2 箇所	1 式	
デジタル時計	電波時計	1 個	
各種ブラケット	積載備品用フル装備	1 式	取付け金具含む
ホワイトボード (マグネット式)		1 個	本体脱着式
傷病者室 C 型バネ付フック		1 式	
消火器	標準型 (自動車用 ABC 4 型以上)	1 式	取付け金具含む
室内灯 (LED)	調光機能付き 4 灯以上	1 式	
隊員用スポットライト	LED ライト	1 個	
ペーパータオルホルダー		1 個	

6 搬送用装備

品名	規格等	数量	備考
防振架台	磁気式若しくは空気式防振架台	1 式	左右スライド機能付
メインストレッチャー	エクステンジストレッチャー TC 4080-S	1 式	
	抗菌マットレス (モデル 50)	2 個	
	サイドアームリリースリンケージシステム	1 式	
	サイドアームプレート	1 式	
	ガートル架キット	6 本	
バイオセーフストラップ (患者固定ベルト)			
1P メタルバック			
スクープストレッチャー収納装置	傷病者室	1 式	
バックボード収納装置	傷病者室	1 式	

7 気道確保用装備

品名	規格等	数量	備考
吸引器固定用ブラケット		1 式	取付け金具含む
吸引カテーテル設備	予備カテーテル収納設備 使用中カテーテル保持設備	各 1 個	取付け金具含む

8 酸素吸入設備・酸素ポンベ

品名	規格等	数量	備考
酸素ポンベ固定装置		1 式	取付け金具含む
酸素吸入器	オキシパック OX-III S または同等品 2 連式加湿流量計 減圧弁 ヨーク型	1 式 4 本	予備ポンベ 2 本含む
携帯酸素用 2 リットル型アルミポンベ	10 リットルアルミポンベ 延長ゴム管バルブ用金具 アルミポンベ 減圧弁含む	2 本	

9 電装品（車両）

品名	規格等	数量	備考
外部コンセント	運転席右側	1 式	接続コード 10 メートル含む
スターターカット機能		1 式	
エアコン	メーカー標準 運転席、患者室エアコン クーラー及びヒーター付き	1 式	
DC-AC インバーター	正弦波 300W 以上	1 式	
DC-AC コンセント	2 箇所以上 銘板表示	1 式	

10 塗装・車体標識等

品名	規格等	数量	備考
塗装・車体標識		1 式	

11 消防救急デジタル無線機及び AVM 並びに携帯電話

品名	規格等	数量	備考
各種移設		1 式	
隊員席スピーカー 送受話器		1 式	

1 2 車両用付属品

品名	規格等	数量	備考
標準工具	標準仕様	1 式	
スペアタイヤ	装備品同等品	1 式	
スタッドレスタイヤ	冬季用 ホイール付属 4 本	1 式	
タイヤチェーン	樹脂製	1 式	
けん引用布製ロープ		1 式	
停止表示板		1 式	
フロアーマット	標準仕様	1 式	
車輪止め	ゴム製又は樹脂製	1 式	
愛車セット		1 式	
予備ヒューズ		1 式	
補修用ペン		1 式	
デジタルカメラ	オリンパス STYLUS Tough TG-6 または同等品	1 式	カメラケース含む
携帯サーチライト	LED 充電式	2 個	